

## 2025(令和7)年度 実績報告(専門学校校友会)

### I. 事業活動増減の部

(単位:円)

収入の部		金額	備考
■ 会費収入	会費収入	4,800,000	
■ その他の収入	受取利息	13,158	
	その他の収入	21,025,632	
収入の部合計(①)		25,838,790	

支出の部		金額	備考
人件費	人件費	1,277,273	
部会分担金	部会分担金	612,044	専門/東洋 : 284,331円
			専門/柔整 : 80,150円
			専門/理学 : 184,419円
			専門/歯科 : 63,144円
学術費	学術費	442,666	
事業費	総会	177,194	
	お祝い	454,370	
	税理士	171,600	
	交通費	237,000	
	新年会	174,520	
	迎随	10,000	
	かんゆう	321,677	
	同窓会助成金	144,664	
	役員報酬	220,000	
	コピー機リース	204,193	
	手数料	63,074	
	備品・消耗品費	401,971	
	通信費(NTT、郵送)	354,797	
	総会懇親会費	108,000	
	弁護士	211,200	
支出の部合計(②)		5,586,243	

差引利益(①-②)		20,252,547	
-----------	--	------------	--

### II. 財産増減の部

差引利益(①-②)		20,252,547	
財産期首預金残高		5,772,769	
純資産増減額		20,052,547	
財産期末預金残高		25,825,316	

#### その他の収入

日付	金額	相手先	内容
4月25日	389,950	小野印刷→専門	賛助金入金
2月12日	823,511	共同→専門	共同の残高1,648,011円から手数料差引いて専門と大学で折半(財産分与)
2月12日	-494,400	専門→大学	R6年度分(R6.4月分～R7.3月分)橋詰返済金を専門と大学で折半。(120万-手数料税込211,200/2)
2月16日	15,000,000	紀陽→専門	学園補填金3000万円の完了に伴い専門校友会と大学校友会で折半=1500万ずつ
2月27日	3,415,176	紀陽→専門	紀陽残金6,830,080円+解約利息1,593円-手数料(770円+550円)÷2
3月5日	3,445,000	大学→専門	財産分与時、先に受け取った橋詰返済金全額を一旦専門へ返金
3月13日	-2,753,000	専門→大学	(橋詰返済金R1年7月～R4年2月分3,446,000円÷2=1,723,000円・・・①) (橋詰返済金R4年3月～R6年3月分)2,500,000円-手数料(消費税込)440,000円÷2=1,030,000円・・・②
3月26日	1,199,395	弁護士→専門	R7年度橋詰返済金12か月分120万-手数料605円) 2026年度で大学と折半する予定

21,025,632